

# 昇龍

- しょうりゅう -

龍蔵寺便り

第4号

2021.7



龍蔵寺赤門脇 観音像とツツジ (2021年4月撮影)

## TOPIC

### ◇伝教大師一千二百年大遠忌御祥当について

◇龍蔵寺掲示板について

◇境内整備のご報告

◇コラム：柳について

◇お盆の迎え方

# 天台宗開祖・伝教大師最澄 一千二百年大遠忌

本年は、天台宗を開いた伝教大師最澄さまの（一千二百年忌）に当たります。

一周忌や三回忌など、お檀家皆様がご先祖のご供養をなさるようにな、今年が、伝教大師がなくなられてから、ちょうど一千二百年の節目に当たることから、総本山延暦寺をはじめ、各地で追善・報恩



法要が行われています。

龍蔵寺におきましても、ご命日である六月四日に、本堂にてしめやかに法要をお勤め申し上げました。

新型コロナウイルスまん延防止措置の発令下でありましたので、皆様に広く宣伝することは控えた次第ですが、お檀家各位におかれましても、本年がそうした勝縁の年でありますことをお知り置きいただき、どうぞ仏さまとご縁結びをお心がけください。



右…伝教大師一千二百年忌をおしらせするポスター。伝教大師の御廟（比叡山浄土院）が描かれる。上…龍蔵寺本堂にて追善報恩法要をお勤めする。

## 境内整備のご報告

### 本堂引き戸の新調

当山の本堂中陣両側は、大きな引き戸で仕切られています。従来の戸は、古い扉であったため、傷みが目立ち、開閉にも支障をきたしておりました。そこでこの度、引き戸を新調致しました。白木の格子扉が設置され、堂内の荘厳さが増しました。



▲本堂中陣（法事等を行うスペース）両側の扉を新調。



▲格子状の白木の引き戸。清々しい印象。

### 門前水路の整備

境内正面に面している道路沿いには、小さな水路が通っています。

この水路について、未舗装の部分がある箇所と崩れたり、溝の部分でむき出しなため、暗くなる危険である、といったお声がありました。そのため、溝をしっかりと固め、グレーチングを設置する工事を行いました。これにより、門前の通りを安心してご通行いただけるようになりました。



▲施工前の様子。景観が悪く、安全面でも心配がありました。

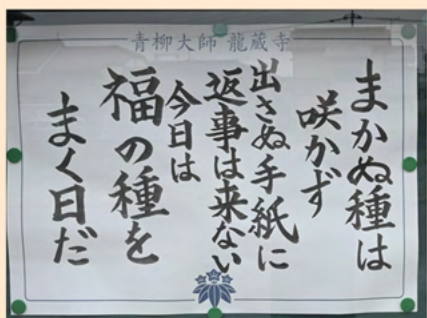


▲工事後の様子。この面に新たに掲示板を設置します。

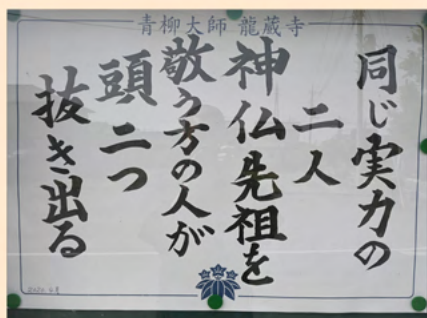
お寺の掲示板、ちょっとのぞいてみませんか？

龍蔵寺の門前掲示板では「今月のことば」を月替わりで掲示しております。

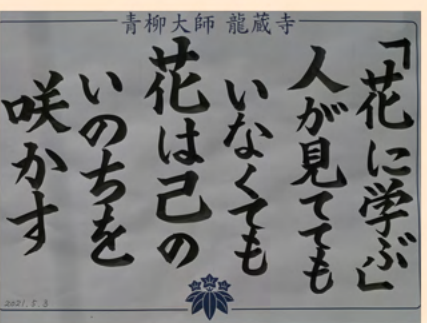
これまでは赤門脇の掲示板に貼りだしておりましたが、今後は、長屋門側に掲示板を新たにもう一基設置し、二か



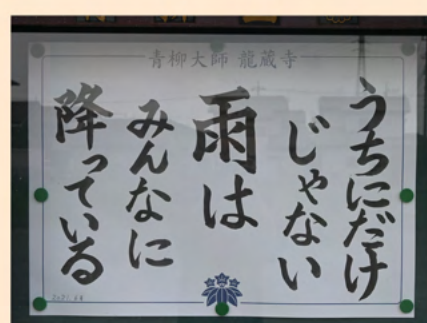
▲2021年3月掲示。



▲2021年4月掲示。



▲2021年5月掲示。



▲2021年6月掲示。

### 仁王門前 柳の植樹

仁王門前に、柳の木の植樹をおこないました。

柳の樹には邪を払う力があるとされています。また、当山は地名から「青柳大師」という通称で呼ばれておりますが、その文字からも何か縁を感じる樹でもあります。境内には、もう一本、鐘撞堂の脇に大きな柳の樹がございますが、これらの柳を当山を象徴する樹として、永く大切に参りたいと思っております。



▲仁王門前に新たに植えられた柳。



▲鐘撞堂脇の柳の太木。当山第41世先々代興朝大僧正が大切にしていました。

### ちよつと寄り道 仏教コラム 柳について



▲柳の御札まもり

樹木の王であり、仏に供える最高の聖木——説では、柳はそう説明されます。龍蔵寺の御朱印にも柳の葉が描かれますが、柳には古来より様々な謂れがあるようです。例えば、京都東山の三十三間堂。ここでは柳の枝で参拝者に浄水を注いで頭痛封じの加持をする、「柳のお加持」という法要がおこなわれています。この法要の起源は、頭痛に悩む後白河上皇が、夢告にしたがって、柳の大木を使い三十三間堂を建立したところ、頭痛が平癒したという故事が由来となつていふようです。ちなみに、柳の抽出物に由来する成分からは解熱鎮痛剤「アスピリン」が作られており、現代の生活の中でも、柳は私たちの痛みを治してくれています。まさに癒しの樹といえる柳。これに風を受け流すように、柳の葉が風を受け流すように、様々な苦しみを乗り越えていきたいものです。

## お盆の迎え方

○八月十三日～十六日の間は、盆棚（精霊棚）を作り、ご先祖様を迎えましょう。

○八月十三日のお盆迎えには、お寺にお参りし、本堂の灯明の火を提灯などでお持ち帰りください。

○八月十三日には、本堂にて、お供え用のお茶をお渡しします。お盆期間中はこのお茶を盆棚へお供え下さい。

○八月十三日のお盆迎えには迎え火を焚き、十六日の送り盆には送り火を焚きましょう。



▲精霊棚の一例（天台宗総合研究センター「お盆のしおり」）

お供えの基本は【五供】とされます。お供えをして、ご先祖様をおもてなしいたしましょう

- ①お香：お線香の香りと煙でご先祖様を導きます
- ②灯明：ろうそくで明かりをともします
- ③供花：きれいな花をお供えしましょう
- ④浄水：毎日新しいお水をお供えしましょう
- ⑤食べ物：お膳や季節の野菜をお供えしましょう

## ※新盆合同法要について

該当お檀家へは既にご通知のとおり、左記により「新盆合同法要」を執り行います。ご出欠未返信のお宅には、ご返信の程よろしくお願いいたします。

なお、法要当日、境内は「合同法要参列者詰め込み駐車」となりますので、お墓参りの方は、南側バラス駐車場をご利用ください（当日は、交通誘導員が出てご案内をいたします）。

日時…八月八日（日）山の日

第一座 午前九時

第二座 午前十一時

場所…龍蔵寺本堂

法要にてお渡しするお塔婆はお盆期間中は盆棚の脇にお供えいただき十六日の送り盆でお墓参りなさる際に、お墓にお立てください。

## 皆様へのお願い

### ○水屋手桶の持ち帰りを！

かねてよりご案内のとおり、墓地水屋を新築し、どなたでもご利用いただける「手桶」を設置いたしました。

つきましては、境内美化のため**従前の手桶棚は撤去**いたしますので、誠に恐れ入りますが**本年八月三十一日**までに、各お宅の手桶につきましてはお持ち帰りの程、ご協力をお願いいたします。

※期限を過ぎ、置かれてある手桶については、寺にて回収・処分させていただきます。

※手桶の処分をご希望の方は、寺務所へお持ちくだされば、寺にて片付けをさせていただきます。

### ○護持管理費について

当山では、境内ならびに墓地の維持管理、天台宗への納付金等のため、「護持管理費」のお納めをお願いしております。

地区お世話人さんがいらつしやる地区では、例年通り、七月中にお取りまとめくださいますので、ご協力をお願いいたします。

お世話人さんがいない地域のお檀家（直納檀家）皆様には、年間のご都合のよい時期を選び、寺務所へ直接お届けの程、お願い申し上げます。

## 青柳大師龍蔵寺 公式ホームページのご案内

行事や活動についての情報やお寺の歴史や由緒を紹介しております。是非一度ご覧ください。



←左のコードを読み取っていただくか、「青柳大師」で検索ください。

## 編集後記

コラムで紹介した柳は、昔、歯ブラシの代わりにも使われていたそうです。医療が未発達だった当時は、体内への入り口となる口内を清潔にすることで、健康を守っていたようです。

先人の知恵に感服すると共に、この事は言葉遣いによる口の綺麗さ・汚さにも言えることではないかと感じました。仏教では悪い言葉遣いを口業（くごう）と戒めませんが、自身の健康のためにも、二つの意味での「お口のケア」に気を付けたいと思います。（副）

発行日…令和三年七月一日  
発行所…青柳山談義堂院龍蔵寺  
発行人…眞木 興空  
編集人…眞木 興遼